

音楽

受験番号

指導の構想を練る時間：5 分間 模擬授業の時間：5 分間

**(1) 本試験のねらい**

音楽のすべての領域に共通する基礎的な能力であるソルフェージュを指導する場面において、指定された楽譜の内容について適切な指導ができるかを評価します。さらに、生徒が正確に表現できない場面の指導についても評価します。

**(2) 問題の内容**

あなたは、普通科高校の第 1 学年の音楽 I の教科担任です。  
授業で以下の楽譜 A のリズム奏を行ったところ、楽譜 B のように演奏する生徒が多かったです。楽譜 A のとおり、正確にリズム奏を行うために、どのように指導するかを様々な生徒の反応を想定して授業を行ってください。

**(3) 課題楽譜**

楽譜 A

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

楽譜 B

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

高校音楽 実技 新曲視唱

**Moderato**

The musical score is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It consists of two staves. The first staff begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. It features a series of eighth notes, a quarter note, and a half note, followed by a triplet of eighth notes. The second staff starts with a mezzo-forte (*mf*) dynamic, moves to a forte (*f*) dynamic, then a piano (*p*) dynamic, and finally returns to mezzo-forte (*mf*). Both staves include slurs and dynamic markings.